

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成23年5月19日(2011.5.19)

【公表番号】特表2007-536040(P2007-536040A)

【公表日】平成19年12月13日(2007.12.13)

【年通号数】公開・登録公報2007-048

【出願番号】特願2007-512181(P2007-512181)

【国際特許分類】

A 6 1 M 11/00 (2006.01)

A 6 1 M 15/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 11/00 A

A 6 1 M 15/00 Z

【誤訳訂正書】

【提出日】平成23年3月30日(2011.3.30)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

エアロゾル容器と、該エアロゾル容器の基部に形状による嵌合によって配置された不透明基部を備えたキャップとを含み、該キャップの内縁部がエアロゾル容器に自動的にかつ逆行できないように締め付けられることを特徴とする、薬剤製品。

【請求項 2】

エアロゾル容器が、基部とは反対側の端部に計量分配弁を備える加圧された容器である、請求項 1 記載の薬剤製品。

【請求項 3】

キャップが金属から形成されている、請求項 1 記載の薬剤製品。

【請求項 4】

キャップが、一方の端部において開放しておりかつ他方の端部において不透明基部を有する中空の円筒体として設計されている、請求項 1 記載の薬剤製品。

【請求項 5】

キャップが、キャップの開放端部に向かった僅かに狭まった内径を有する、請求項 4 記載の薬剤製品。

【請求項 6】

キャップが、3～10 mm、好適には4～6 mmの高さと、19～25 mm、好適には21～23 mmの範囲の内径とを有する、請求項 4 記載の薬剤製品。

【請求項 7】

キャップが、5 mmの高さと22.1 mmの内径とを有する、請求項 6 記載の薬剤製品。

【請求項 8】

エアロゾル容器が収容されるマウスピースを有する、請求項 2 記載の薬剤製品。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0015

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0015】

本発明によれば、キャップは、キャップの開放端部に向かって僅かに狭まった内径を有する。したがって、キャップは、僅かな締付力を用いてエアロゾル容器の基部に配置されることができる。キャップの開放端部に向かって僅かに狭まったキャップの内径は、エアロゾル容器へのキャップの自動的な、好適には逆行できない締付けを可能にする。これにより、エアロゾル容器の基部へのキャップの永久的な固着を保證することが可能である。